

AREC・Fiiプラザ 第127回リレー講演会【農商工連携分野】

AREC 農商工連携人材育成セミナー [第6回]

■日時：平成23年10月6日（木）14:00～17:00 ※終了後、懇親会開催
※開始時間 14時です／ご注意ください

■場所：AREC [上田市産学官連携支援施設] 4階
(上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内 Tel:0268-21-4377)

講演1

14:00～15:00 質疑・応答

演題 『施設園芸作物の省エネルギー対策技術 ～農林水産省委託事業（課題名「東海地域における原油価格 高騰対応施設園芸技術の開発」）の成果から～』

講師：NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 コーディネーター 前川 哲男 氏

概要 2006～2008年度の3カ年間、三重県を主査として、愛知、岐阜県、（独）野菜・茶業および花き研究所、関係3企業の合計8機関で共同実施した農林水産省委託事業「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業（課題名は既述）」で得た成果は、農林水産省の「農業新技術2010」に採用されました。その内容は、急騰したオイル価格に耐えられる農家育成のため、東海地域の主要施設園芸作物のトマト、イチゴ、キュウリ、観葉植物、バラ、ハウスミカン、イチジク、ナシの8品目について、燃料電池利用技術の可能性等も含め、省エネ栽培技術、被覆資材や加温機器等の改良技術を組み合わせて、石油燃料使用量の30%以上の削減をめざした総合的・省エネ技術の開発です。

休憩

講演2

15:30～16:30 質疑・応答

演題 『植物工場と品種育成の可能性について』

講師：信州大学ヒト環境科学研究支援センター 遺伝子実験部門 准教授 松村 英生 氏

概要 一般に農業では作物の栽培技術の進歩と新品種の育成が連動することで生産性を向上させてきた。植物工場の利用においても同様に品種の育成（育種）は重要な要素であると思われるが、研究、実践のどちらについても具体的なアプローチはまだ数少ない。しかし、いかに付加価値の高い作物（品種）を生産できるかがビジネスとしての植物工場の利用には不可欠と考える。本講演では、最近の基礎研究の知見や技術を活用して、「植物工場のための育種（品種育成）」と「植物工場を利用した育種」という2つの観点からその可能性について提案する。

交流会（参加費無料）

17:00～

●お申込先 AREC・Fiiプラザ事務局 宛

メール（mousikomi@arecplaza.jp）またはファックス（0268-21-4382）でお申し込みください。

第127回リレー講演会／農商工連携人材育成セミナー[第6回] 参加申込書

（平成23年10月6日）

企業・機関名			
参加者名			
所属・役職		電話番号	
メールアドレス		ファックス番号	

※ご記入いただいた個人情報（御社名、所属・役職、氏名）は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません。